

特定業種・特定業務向けパッケージの開発・販売

株式会社システムディ

2012年10月期 決算説明資料

説明者 代表取締役 堂山 道生

平成25年2月8日

私立
大学

公立
小中高校

公会計

スポーツ
クラブ・
体育館

法務
総務

薬局

会社概要

- 社名** + 株式会社 システムディ
- 代表者** + 代表取締役 堂山 道生
- 所在地** + [本社] 〒604-8172 京都市中京区烏丸通り三条上る
+ [東京支社] 〒105-0014 東京都港区芝1丁目12-7 芝一丁目ビル8F
- 創業** + 1984年8月14日
- 資本金** + 4億8426万円(2012年10月31日現在)
- 従業員数** + 157名(内シンク8名)(2012年10月31日現在)
- 取引銀行** + 三菱東京UFJ銀行、三井住友銀行、滋賀銀行、京都銀行
- 主要取引先** + NTT東日本、NTT西日本、NEC、富士通、パナソニック、東芝、日立、みずほ情報総研、日本総研、京セラ丸善SI 他
- 主要仕入先** + マイクロソフト、富士通、NEC、ソフトバンクBB、トレンドマイクロ 他
- 発行済株式数** + 3,249,000株(2012年10月31日現在)
- 株主数** + 2,202名(2012年10月31日現在)

2012年度10月期決算概要

当期の概要

販売単価の低下と自治体の予算執行の遅れで減収減益

パッケージ販売本数、ユーザ数、
サポート契約数は順調に伸び、経営基盤は拡大

学園ソリューション事業は予算を達成するも、公教育事業
の落ち込みをカバーするには至らず

ウェルネスソリューション事業は過去最高の売上も、ストッ
ク型への移行により利益は平準化

ソフトウェア資産を見直し、減損処理

損益計算書

当初計画比

(単位: 百万円)

	2012年10月期 計画値	2012年10月期		
		実績	計画増減	計画比 (%)
売上高	2,185	1,948	△ 237	89.2
売上総利益	833	651	△ 182	78.1
営業利益	172	27	△ 145	15.7
経常利益	160	17	△ 142	11.0
当期純利益	92	△ 185	△ 277	—

前年同期比

(単位: 百万円)

	2011年10月期	2012年10月期		
		実績	前年増減	前年同期比 (%)
売上高	1,996	1,948	△ 48	97.6
売上総利益	740	651	△ 89	87.9
営業利益	152	27	△ 125	17.7
経常利益	140	17	△ 123	12.5
当期純利益	23	△ 185	△ 208	—

貸借対照表

(単位:百万円)

		2011年10月期	2012年10月期	
			実績	増減額
資産合計	流動資産	851	775	△ 76
	固定資産	1,761	1,693	△ 67
		2,613	2,469	△ 143
負債合計	流動負債	431	590	159
	固定負債	825	687	△ 137
		1,256	1,278	22
純資産合計		1,356	1,190	△ 165
負債純資産合計		2,613	2,469	△ 143

キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

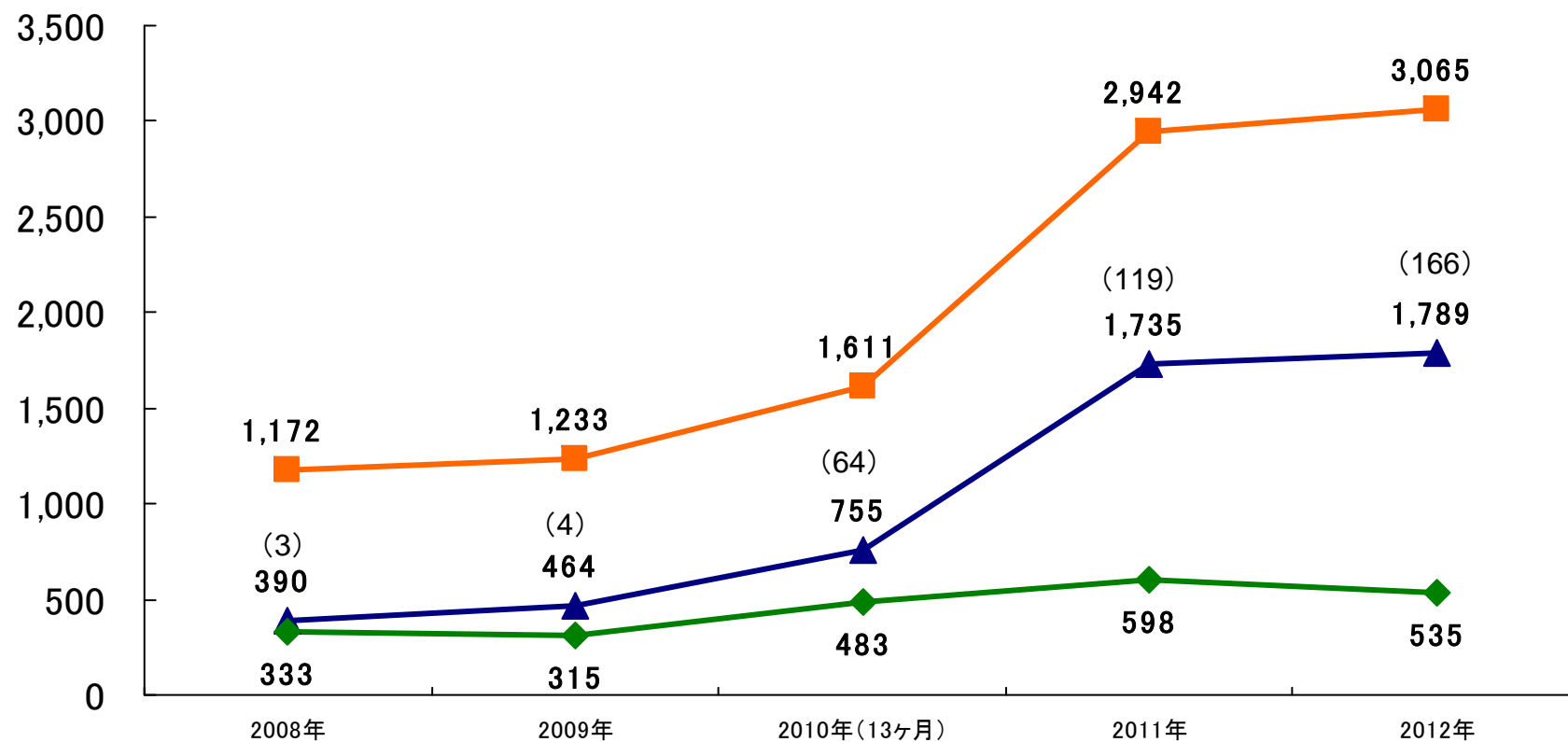
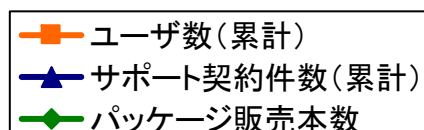
		2011年10月期	2012年10月期
	営業活動によるキャッシュ・フロー	311	260
	投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 386	△ 284
	フリー・キャッシュ・フロー	△ 74	△ 24
	財務活動によるキャッシュ・フロー	47	42
	現金及び現金同等物の増減額	△ 27	18
	現金及び現金同等物の期首残高	250	223
	現金及び現金同等物の期末残高	223	241

強固な収益基盤を堅持

	2011年10月期	2012年10月期
パッケージ販売本数(年度)	598	535
ユーザ件数(累計)	2,942	3,065
サポート・クラウド契約件数(累計)	1,735	1,789
サポート・クラウド売上金額[百万円]	494	477

業績の推移

パッケージ販売本数・ユーザ数・サポート契約数の推移

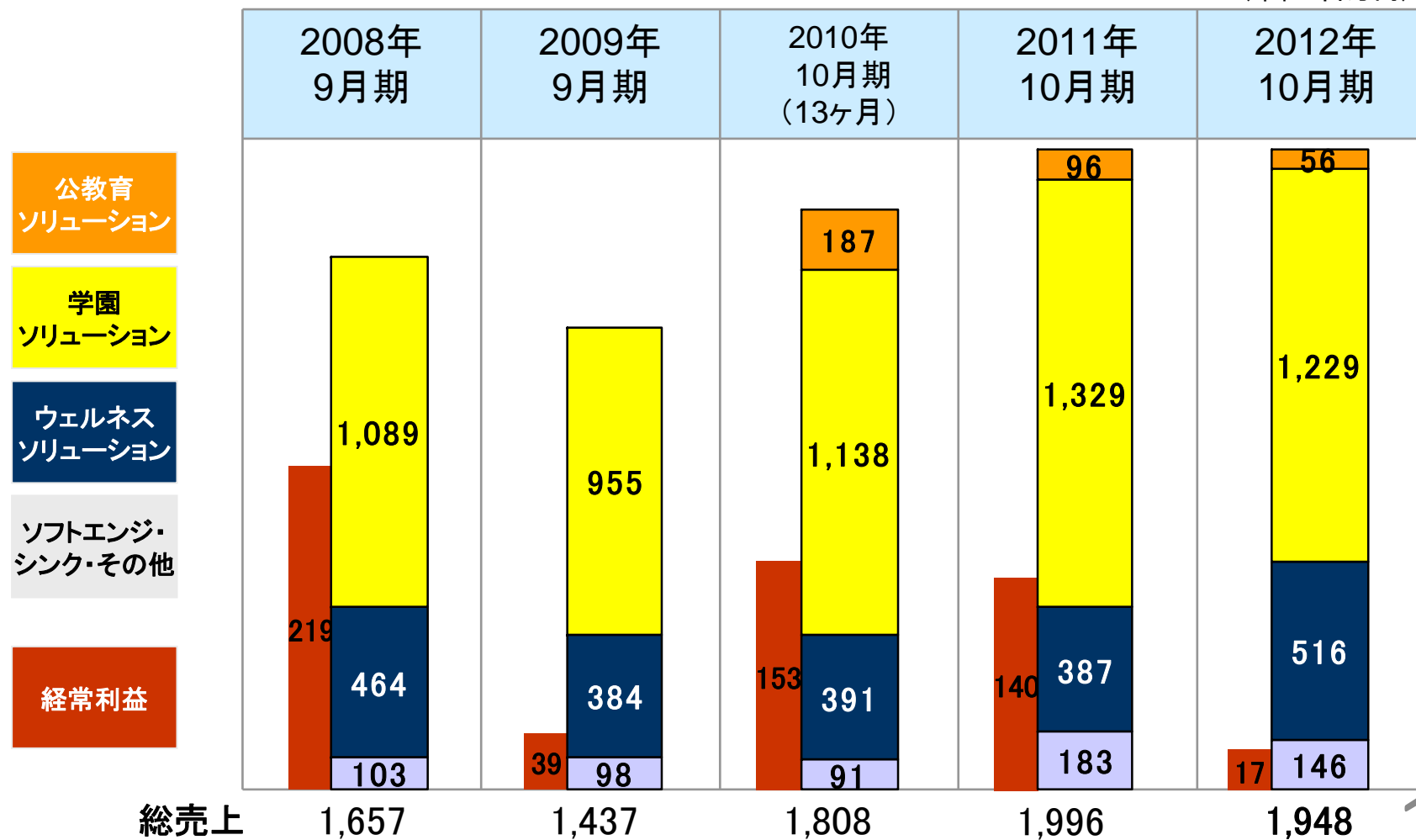


※ サポート契約件数の()内の数値は、クラウドの件数です。

※ 2010年10月期から公教育ソリューション事業部、2011年10月期からシンクを加えた数となっております。

部門別売上推移

(単位:百万円)

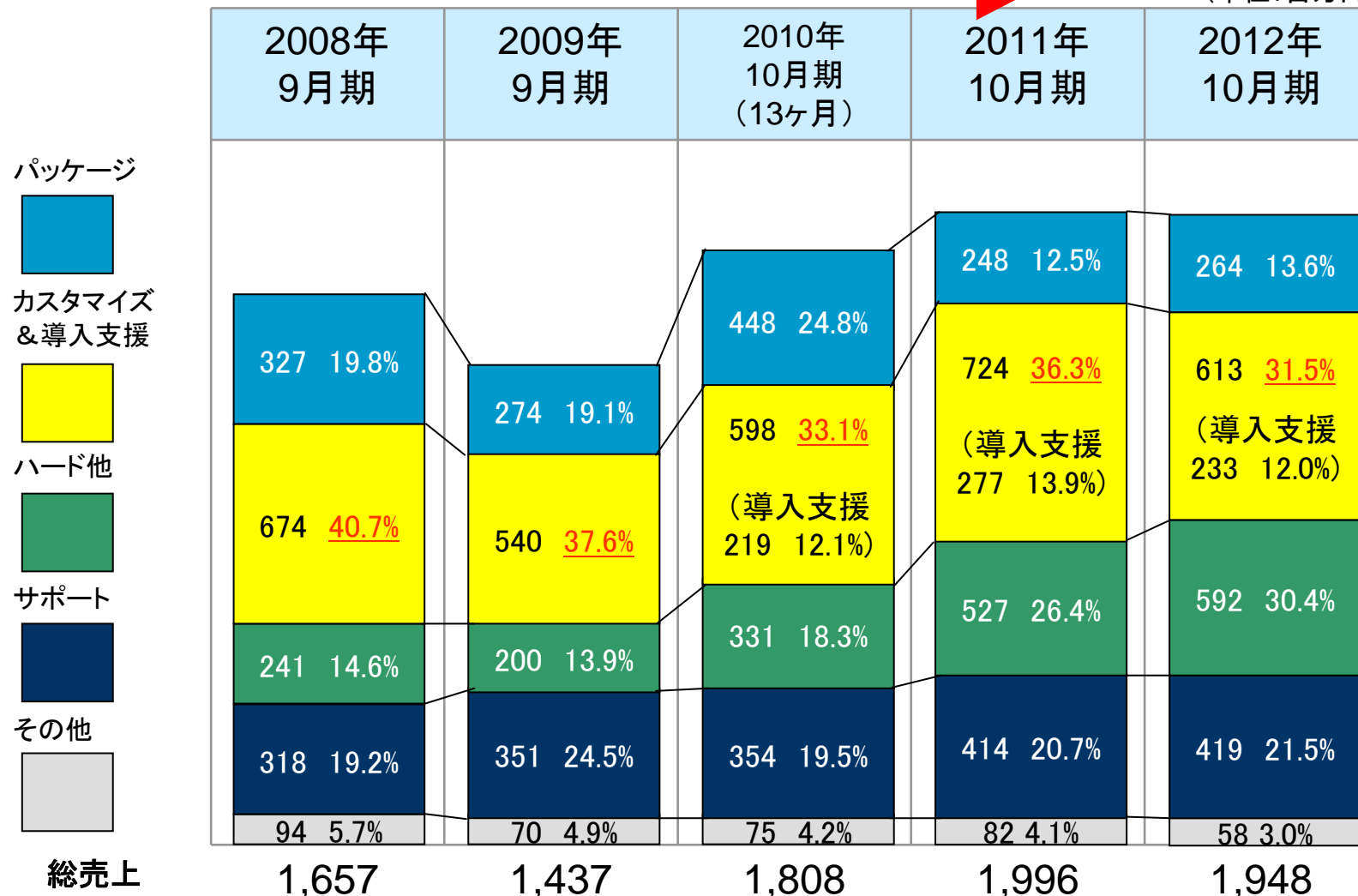


※ 2010年10月期以前は個別数値、2011年10月期以降は連結数値を記載しております。

種類別売上推移

スモール & パワービジネス

(単位:百万円)



※ 2010年10月期以前は個別数値、2011年10月期以降は連結数値を記載しております。

※ ハード保守売上につき、2009年9月期まではサポート売上で集計し、2010年10月期以降はハード他売上で集計しております。

システムディとは

経営の基本方針

急激に変化する情報化社会において、真に付加価値の高い情報及びそのソリューションを提供することによって、より豊かで創造的な情報社会を実現してまいります。

具体的には、創業以来、以下の3点を立脚点として事業展開を図っており、お客様各位のニーズに応えるとともに、業績の向上を実現するソリューションを提供してまいります。

1. ユーザ志向、顧客優先

与えられた条件の下で最高のものを組み立て提供する

2. パッケージソフトによる最適なソリューション

知識集約企業として付加価値の高い製品とサービスを提供する

3. 業界No.1特定業種ソフトウェア、特定業務ソフトウェア

特定業種、特定業務のソフトウェアに特化して、業界でのデファクトスタンダードを目指す

SystemD :[仏] ① 与えられた条件の下で最高のものを組み立てる
② 困難・難問を工夫と努力で克服する方法
③ 日曜大工

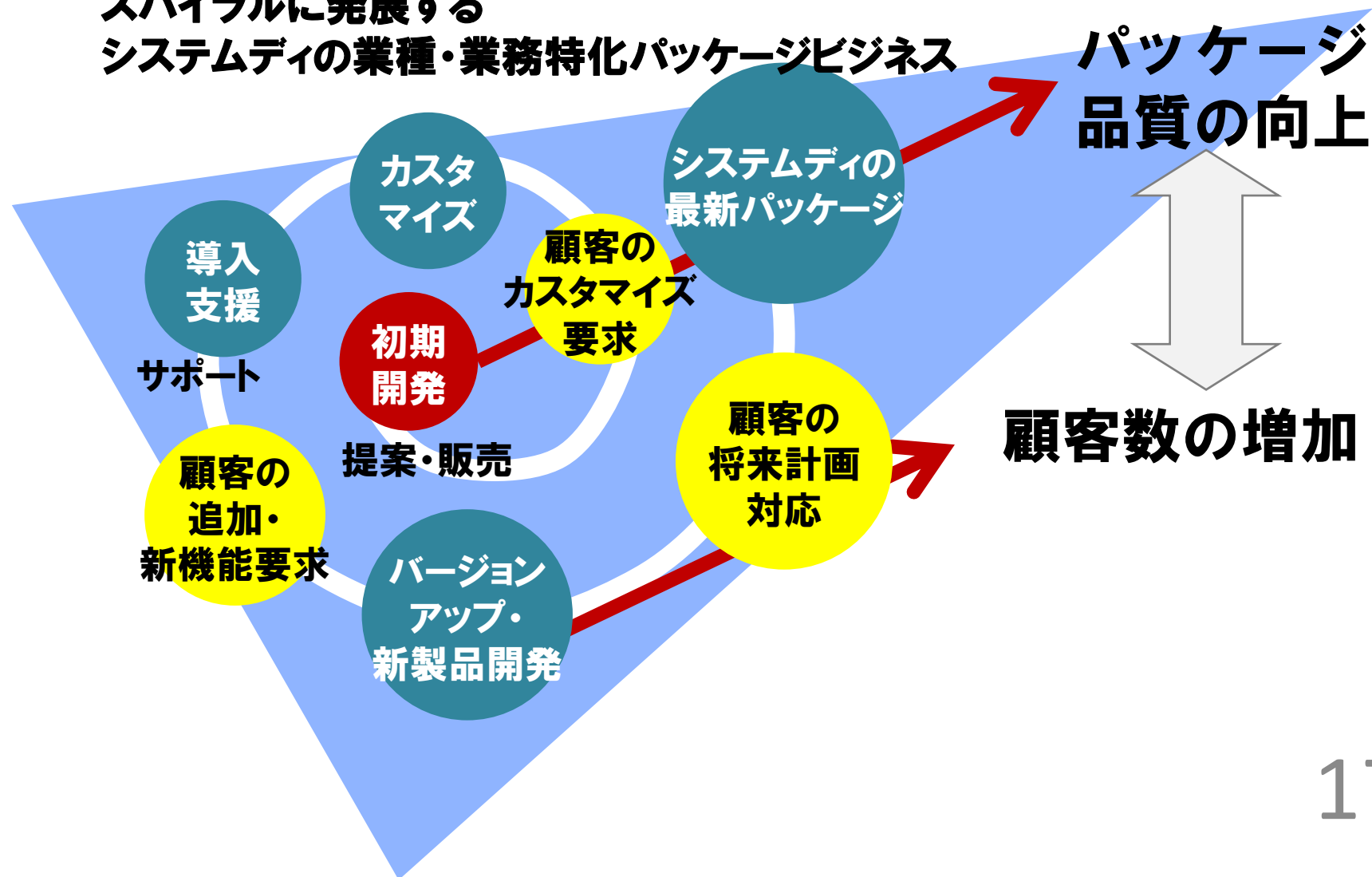
6つの事業部門 公会計部門を創設

<p>学園ソリューション</p>	<p>1985年の発売以来、幼稚園から大規模総合大学まで数多くの導入実績を誇る『キャンパスプラン』を軸に、周辺オプションを充実させ事業を拡大中。</p>
<p>公教育ソリューション</p>	<p>2010年に公立小中高校向けの校務支援サービス『School Engine』の提供を開始。国内初のクラウド型サービス。センター集中型にも対応。</p>
<p>ウェルネスソリューション</p>	<p>1980年にスイミングスクール会員管理システムとして誕生。現在、月間約50億円の会費回収業務に利用されている『Hello』が事業の中核。</p>
<p>ソフトエンジニアリング</p>	<p>2010年にリリースした『規程管理』シリーズを中心に企業、学園、公益法人のコンプライアンス、コーポレート・ガバナンス支援製品で事業展開。</p>
<p>公会計ソリューション</p>	<p>2012年12月に(株)PMCより公会計システム事業(公会計パッケージPPP、開発・保守要員、保守売上、販売代理店網)を譲り受け。顧客自治体は約150。2013年1月より本格稼働。</p>
<p>薬局ソリューション (株式会社シンク)</p>	<p>1997年にレセコン『GOHL』の発売を開始。大阪府薬剤師会推奨の『OKISS』をリリース。2011年には『薬歴情報電子ファイル』をリリース。</p>

システムディのパッケージビジネス

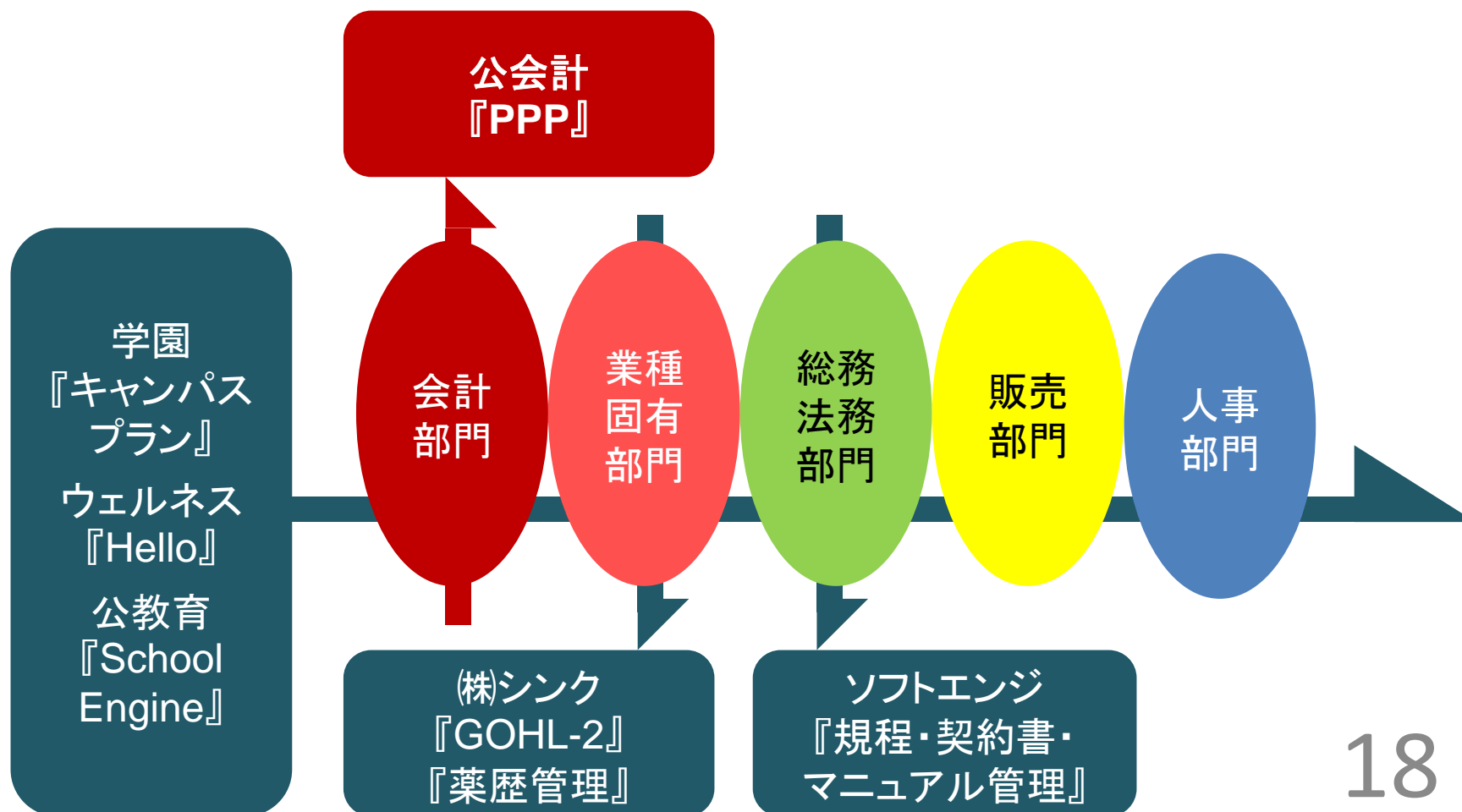
スパイラルに発展する

システムディの業種・業務特化パッケージビジネス



ワンストップの処理を実現するパッケージ

システムディの業種パッケージは全ての部門と部門にまたがる業務を、
業務パッケージは部門内の全ての業務をワンストップで処理します



事業領域を拡大

既存民間分野で培ったノウハウを公共分野へ

これまでのシステムディのパッケージビジネスは、
主に民間の市場を対象に組立



公共分野へ業務特化したパッケージで積極的に進出

2010年4月に公教育分野へ『School Engine』

2011年6月に公共体育館向けに『すこやかHELLO』

2012年12月に公会計システム『PPP』事業を買収し、
システムディの持つ資産を公共向けに投入

教育分野

民間領域

学園向けトータルシステム
キャンパスプラン.NET Framework

公共領域

クラウド型公立小中高校向け
校務支援サービス
School Engine
(スクールエンジン)
2010年4月～

図書館システム **CARIN**(カリン)

会計分野

学校法人(公益法人)向け
学校法人会計情報システム
備品・固定資産情報システム

新公会計システムPPP(トリプル・
ピー)、分析ツール 改革
2012年12月～
(株)PMCより事業譲り受け

健康分野

民間領域

公共領域

フィットネスクラブ向け
会員管理システム
HELLO(ハロー)

体育館向け施設管理システム
すこやかHELLO
2011年6月～

ウォーキング事業・保健指導事業
ウォーキングサイト Nanpo(ナンポ) 2011年2月～

総務・施設管理部門

規程(例規)管理システム
契約書作成・管理システム

施設情報管理システム
ファシリティマネジメントシステム

自動証明書発行機(システム連動機器) 2012年10月～

自治体向け地方公会計パッケージ『PPP』の概要

■背景

- 2006年5月「新地方公会計制度研究報告書」
- 民間の会計基準に準じた財務諸表の作成・提示を求める。
- 2013年3月により進化した「新公会計基準」が総務省より提示(予定)

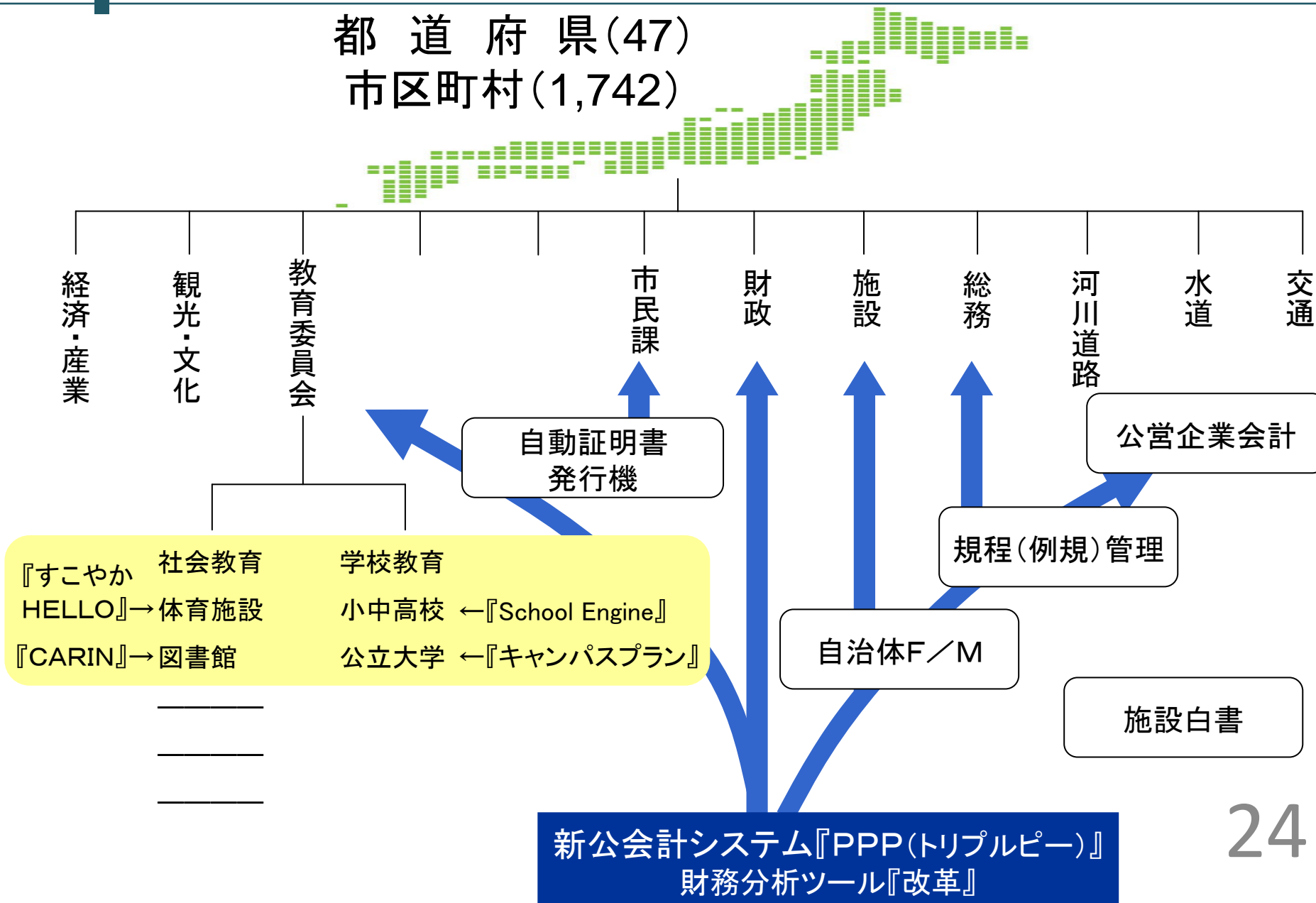
■地方公会計システム『PPP(トリプルピー)』の概要

自治体の予算執行データ→発生主義・複式簿記により財務諸表を作成し
固定資産台帳の整備・管理を実現
既に150以上の地方公共団体に導入

■事業モデル

対象:全国の自治体
販売単価:3,000千円
販売本数:今後3年で250本

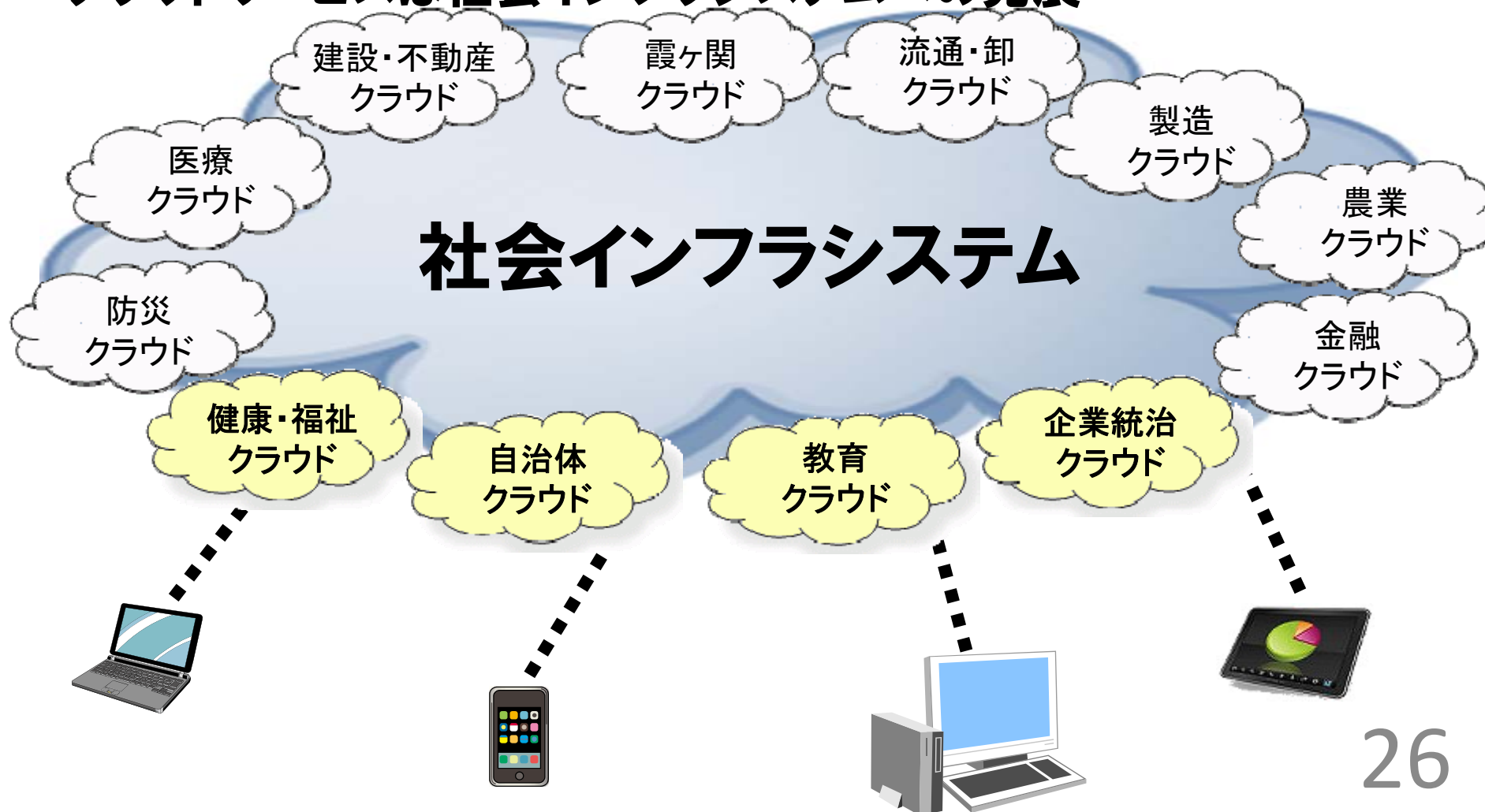
都道府県(47)
市区町村(1,742)



新公会計システム『PPP(トリプルピー)』
財務分析ツール『改革』

クラウドへの取り組みを強化

業種・業界別クラウド＝社会インフラシステムへ クラウドサービスは社会インフラシステムへの発展



利用者のASP・SaaSサービスへの満足度

満足している利用者の割合(単位%) **当社の事業領域**

評価項目	業種特化系 アプリケーション N=214	基幹系 アプリケーション N=287	支援業務系 アプリケーション N=267
初期費用の安価性	73.8	76.3	80.5
運用費用の安価性	70.1	67.6	74.2
セキュリティ面の 信頼性・安全性	78.5	76.7	81.3
	教育/医療・福祉・健康/環境・エネルギー 関連が急増	生産管理/人事・給与/会計等	グループウェア/メール/運用管理等

■ 当社のクラウドサービス

※ASP-SaaS・クラウドコンソーシアムまとめ

- 公立小中高校向け校務支援『School Engine』
- フィットネスクラブ向け会員管理『Hello ASP』
- 学園向け『キャンパスプラン クラウドサービス』
- 『規程管理システム・クラウドサービス』
- ウォーキングサイト『Nanpo』

	～2012年10月(31期)	2012年11月(32期)～
学園	『キャンパスプラン.NET Framework』 Ver.5	『キャンパスプラン.NET Framework』 Ver.6
	『CPクラウド会計・給与システム』	
		『CPクラウド専門学校版』
	『キャンパスプラン Web Open Campus』	『科研費管理システム』 『寄付金管理システム』
	『キャンパスプラン証明書自動発行システム』	
	『キャンパスファシリティ情報システム』	
公教育	『School Engine(スクール・エンジン)』高校版 校務支援・グループウェア・メール連絡網クラウドサービス	
		小中学校向け『School Engine(スクール・エンジン)』
ウェルネス	フィットネスクラブ向け会員管理システム 『Hello』	
	フィットネスクラブ向け会員管理システム 『Hello ASP』	
	公共体育施設運営支援システム『すこやかHello』	
		『入会・予約・短期Web System』
ソフトエンジニア	『規程管理システム』	『規程管理システム』 Ver.2.0
	『規程管理システム・クラウドサービス』	
	『契約書作成・管理システム』	『契約書作成・管理システム』 Ver.2.0
		『ファシリティマネジメントシステム』
公会計		公会計システム『PPP(トリプル・ピー)』
		公会計分析ツール『改革』
薬局	保険薬局向けレセコン『GOHL』・『薬歴情報電子ファイル』	
	<input type="checkbox"/> 従来のパッケージ <input type="checkbox"/> クラウド型のパッケージ	『お薬手帳モバイル版』

2013年10月期見通し

**公共分野へも
スモールビジネスを
パワフルに展開します**

■ スモールビジネス

- ・ 自社パッケージを核として高収益を目指すビジネスモデルを継続します
- ・ 市場ニーズに合わせ、他社を圧倒する性能を持つ製品価値を維持すべく、常にパッケージの機能向上に努めます

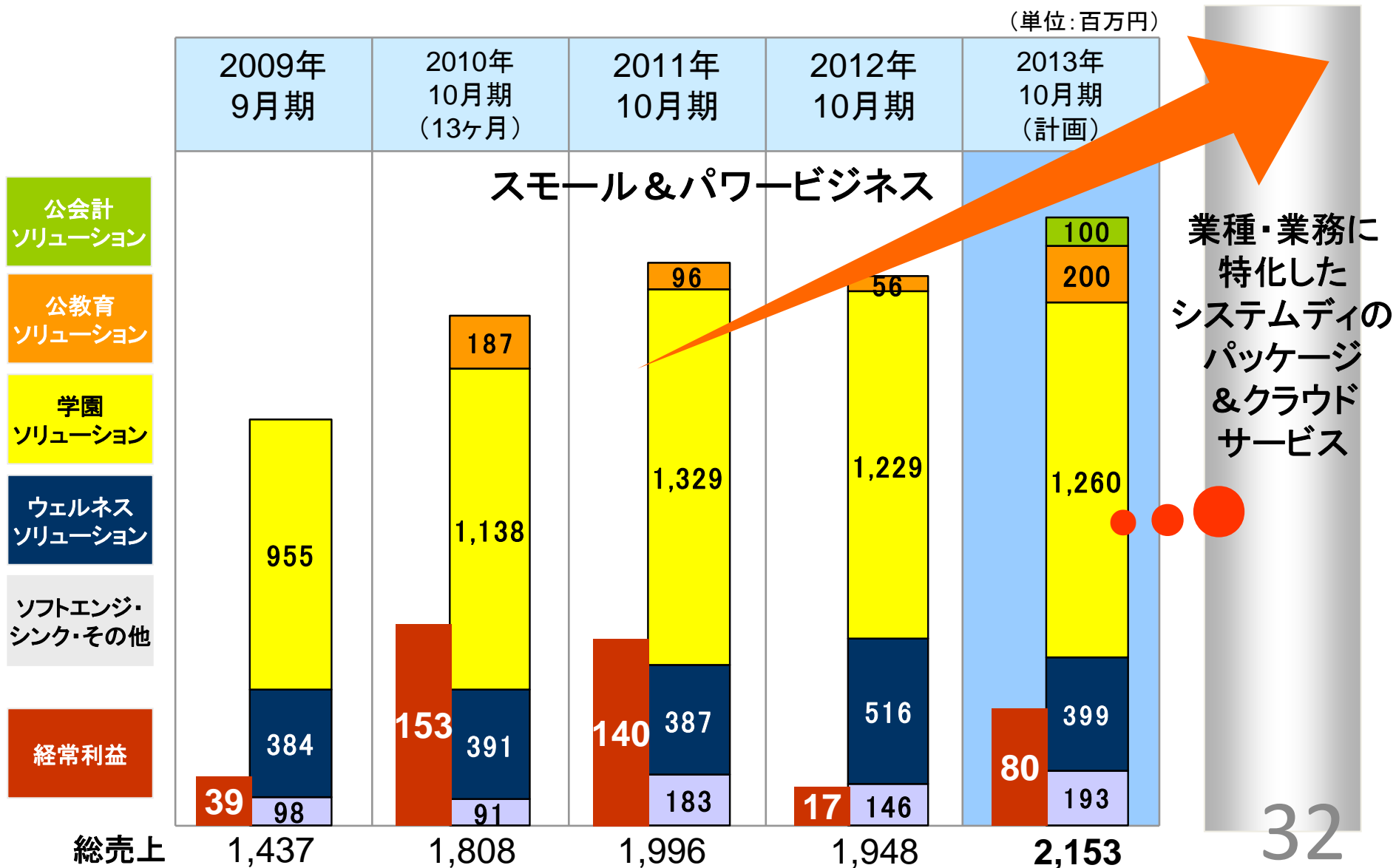
■ パワービジネス

- ・ 収益構造の変化に対応して、圧倒的な営業展開でパッケージによるイニシャル収益とクラウドサービスによるランニング収益を確保します
- ・ 公共分野へ積極的に進出し、この分野でのシナジー効果を得て、多角的に展開します

2013年10月期通期計画

(単位:百万円)

	2012年10月期	2013年10月期		
		計画値	前年度増減	前年同期比(%)
売上高	1,948	2,153	204	110.5
営業利益	27	93	66	347.5
経常利益	17	80	62	457.6
当期純利益	△ 185	51	237	—



※ 2010年10月期以前は個別数値、2011年10月期以降は連結数値を記載しております。